

日本医師会ニュース「平成 28 年熊本地震」：情報提供第一報

都道府県医師会 御中
都市区医師会 御中

平成 28 年 4 月 16 日 15 : 00
日本医師会災害対策本部

平成 28 年 4 月 14 日に発生した、「平成 28 年熊本地震」に関して、現時点でも広い地域に多大な被害が広がっていることが伝えられており、多くの被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

日本医師会では可能な限りの支援提供を行うために、4 月 15 日より日本医師会災害対策本部を立ち上げ、担当課などが情報収集に努めております。今後、入手いたしました新しい情報に関しましては、この「日本医師会ニュース平成 28 年熊本地震」にて情報提供するとともに、会員各位のご協力をお願いする際には更に別文書にて正式にご依頼申し上げますので、よろしくお願い申し上げます。

塩崎恭久厚生労働大臣から横倉会長宛てに医療支援に関する協力依頼が 4 月 15 日にあったことを受けて、日本医師会災害対策本部 [代表番号 03-3946-2121 (休日日中は防災センターが出て、担当の部署に転送いたします)、FAX : 03-3946-6295] では、被災地域の県医師会、都市区医師会と連絡を取り、必要な医療支援、物資などに関するご要望の把握に努めています。

現時点では、4 月 15 日に九州各県の DMAT チームが投入され、4 月 16 日には四国・中国・近畿が出動しています (中部以東は待機しております)。投入された DMAT チームは、現地で急性期災害医療の役割を担っています。

日本医師会として、4 月 15 日には熊本県医師会が編成する医療チームを JMAT として位置づけ、関係文書を同県医師会並びに 46 都道府県医師会に送っています。また、厚生労働省医政局長から協力依頼文書をもらい、都道府県医師会に送っています。

さらに、4 月 16 日には、本震発生等の状況を踏まえ、JMAT の派遣元となる医師会を、全国の都道府県医師会に拡大することを決め、都道府県医師会に協力依頼を出しました。なお、今般の JMAT 派遣は、「九州医師会連合会災害時医療救護協定書」(平成 26 年 7 月 4 日) を基本とするため、九州各県医師会のチームを優先して派遣することになります。

熊本県内の交通状況は大変な困難な状況が続いており、重傷者の搬送、透析患者の移動が優先して行われています。来週より薬剤、資材などの物流の問題が生じてくることが予想され、対策を考慮しています（緊急車両に添付する通行証等については、現在、警察関係の対応を求めています）。

南海トラフ大震災を想定した衛生利用実証実験で活用したクラウド（OpenNetKarte）を「平成28年熊本地震」向けに設定し直し、利用する方向です。クロノロジーなど、JAXA（国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構）より提供された衛星画像（災害前、4月15日午前）につきましては、既に都道府県医師会に情報提供しておりますが、4月16日以降は提供を受け次第、掲載することとします。

以上